

2 おかあさんは、弟が言うことを聞かないで、

屋根にあがったり、ぼうをふりまわしたりするので

- ア あぶなくてしかたがない。
- イ ひどくしかったです。
- ウ おかあさんはしかったです。
- エ 弟はおかあさんにしかられました。

七、次の例文のように、同じことを言うのに、ふたとおりの言い方ができる場合があります。(例) にならって、上の文の——の部分を書きなさい。

(例) 父が、ぼくを、——

ぼくは、父に、よばれた

1 兄は、ぼくに、本を、読めと
——
言った。

ぼくは、兄に、本を
——
読めと

2 本たちは、ぼくに、あぶないと
——
注意した。

ぼくは、本たちから、
——
あぶないと

八、次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

- ① 日本は山が多いので、耕地は、国土全体の七分の一ぐらいしかない。だから、日本人は、このせまい耕地を、できるだけじょうずに使うくふうをしている。
- ② 作物ができる所なら、どんな高い所でも、どんなにけいしやのはげしい所でも、利用している。また、土地のせいしつや気候にあつた作物を選んで、できるだけ収かく高を上げるようにしている。
- ③ たとえば、中部地方では、千六百メートルもの高さの所に畑があるし、えひめ県では、三十度以上けいしやしている土地まで耕地にしている。また、鹿児島県には、一年に四回もきゅうりを作る所がある。

- 1 上の文章の中で、前にのべたことを、さらにくわしく説明している段落は、なん番ですか。
- 2 また前にのべたことを、実例をあげて説明している段落は、なん番ですか。
- 3 上の四つの段落の中から、筆者の意見が、はいつているものを、一つだけひろつて、その番号を書きなさい。
- 4 上の文章では、次のどのことをのべていますか。一つ選んで、記号を○でかこみなさい。
 - ア 日本人は耕地をじょうずに使っているが、このうえさらに近代化して使うくふうがほしい。
 - イ 日本人は耕地をじょうずに使つて、収かく高をあげようとしているが、なかなかあがらない。